

信州大学医学部国際交流推進室は  
「世界へ羽ばたく、世界から集う信州大学医学部をめざして」  
国際交流を推進します



信州大学医学部 国際交流推進室、大学院 国際医学研究推進学 教授 田中直樹

信州大学医学部の国際交流のウェブサイトをご覧ください、ありがとうございます。

信州大学医学部の『基本理念』には「医科学の教育・研究と医療活動を発展させることによって地域貢献を果たし、国際交流に寄与します」とあり、さらに『目標』では、「1. 優れた研究成果を広く世界に発信し、諸外国の研究者との研究協力を推進する。2. 諸外国からの学生・研究者の積極的な受け入れや諸外国への留学を奨励することにより、お互いの顔の見える人的交流を推し進める」と明記されています。医学部国際交流推進室はこのような『基本理念』と『目標』を実現するために、日々活動しています。本学部所属の学生・教職員だけでなく、国内外の学生・研究者に対しても、勉学・研究の支援を最大限行い、信州大学医学部のグローバル化を推進するのが使命です。

将来の医師、医療関係者、研究者にとって、諸外国の仲間との交流は大変重要であり、それには臆せず英語を話す習慣と医学に関する十分な知識を蓄積することが肝心です。国際交流推進室はそのための環境作りとして、海外機関との交流協定の締結、学生交流（派遣・受入）および研究交流の支援、派遣先での安心・安全の確保、国際交流や医学英語に関する教育プログラムの充実に努めています。

2020年からのCOVID-19のパンデミックにより、国際交流も変化を余儀なくされました。ICTの利用により、オンライン国際共修（Collaborative Online International Learning、COIL）、Webinar（医学部国際交流セミナー）に取り組んできました。しかし2022年秋、ついに学生派遣・受入を再開できました。8月には医学部5年生6名が3か月間の海外実習に出発し、11月に学部間協定校であるドレスデン工科大学（ドイツ）から3名の医学生を4か月間受け入れることができました。2023年度も医学部5年生12名の派遣、海外協定校の学生10名の受入が実現しました。コロナ禍で蓄積されたオンライン交流の経験を、リアルの人的往来に生かすことで、留学プログラムの内容をさらに充実させ、交流の「質向上」を目指していきたいと考えています。我々は、より多くの学生・若手医師が国際的活躍の足場を築き、世界へ羽ばたく一助になりたいと考えています。

国際交流推進室は医学教育研修センターや学務係、さらに信州大学グローバル化推進センター、バイオメディカル研究所、松医会、国内外の教育機関とも連携し、本学部の国際化を推進してまいります。いつでもお気軽に、国際交流推進室をお訪ねください。お待ちしております。

◆メンバー

室長 田中 直樹（国際交流担当教授）  
コーディネーター 百瀬 みと美

◆場所

信州大学松本キャンパス 医学部基礎棟1階「国際交流推進室」